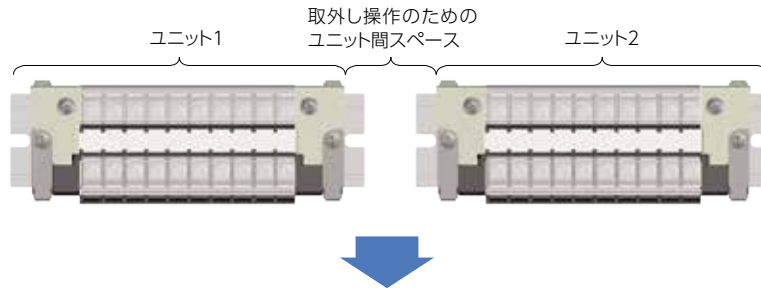


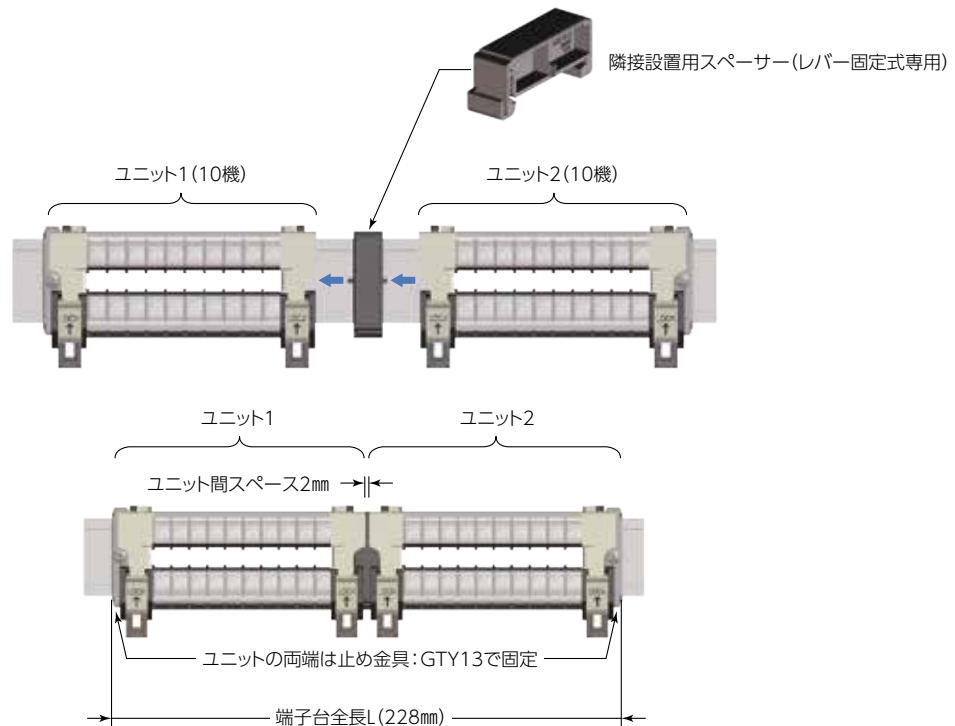
# 特長

## 隣接設置を省スペース化

ネジ固定式：ATXSL-10/30組端子台は、上部端子台の取外し操作のため、ユニット間に十分なスペースが必要



レバー固定式：ATXRL-10/-30組端子台では、レバー操作で取外しを行う事によりユニット間を省スペース化  
同一レール上への複数ユニット隣接設置が可能です（レバー固定式のみ設定）  
ユニット間には専用スペーサーを配置し、ユニット間スペース2mmでの隣接設置を実現!!



$$\text{端子台全長}L = (\text{端子台幅}(\square\text{mm}) \times \text{総極数}) + (32\text{mm} \times \text{総ユニット数}) + 4\text{mm}$$

$$(\text{ATXRL-10の例}) 228\text{mm} = (8\text{mm} \times 20\text{極}) + (32\text{mm} \times 2\text{ユニット}) + 4\text{mm}$$

※隣接設置組端子台は受注生産のためお問合せください。

※1ユニット=2P~20P(ATXRL-10) / 1ユニット=2P~22P(ATXRL-30)

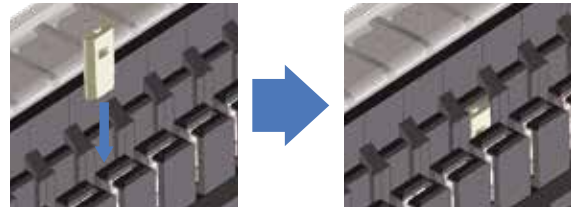
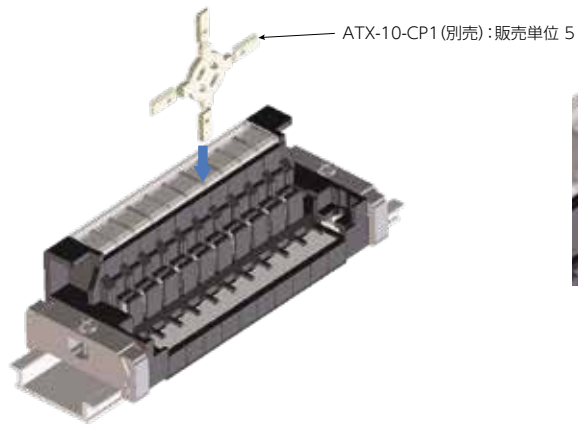
※レール寸法が500mmを超える場合、レールを3ヶ所以上で固定してください。

固定位置にはユニットを隣接設置せずに、止め金具で固定しスペースを空けてください。

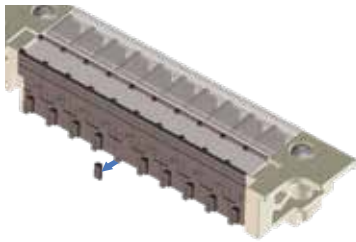
## 誤挿入防止

### ① 下段端子台に誤挿入防止プレートを挿入して切断する

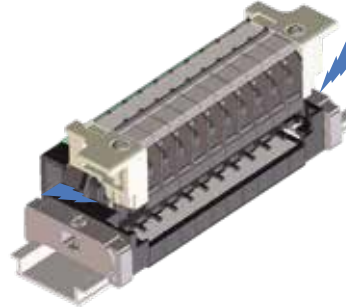
※誤挿入防止プレートは奥までしっかりと差し込んでください。



### ② 対になる上部端子台の突起をニッパーで切断する



### ③ 正しい組合せでなければ、端子台が挿入できなくなります



※ATX-10/ATX-30、レバー固定式/ネジ固定式ともに誤挿入防止の施工が可能です。

## 使用上の注意

※上下端子台の挿抜は、必ず入力側遮断器を切り電気がきていないことを確認してから行ってください。

※レバー固定式の場合 … 上下端子台の組付け後、ロックを固定位置にスライドさせレバーをロック状態にして使用してください。

※ネジ固定式の場合 … 上下端子台の組付け後、必ず固定ネジを締めて使用してください。

※誤挿入防止を施した上下端子台を取付ける際に、誤挿入防止のストッパーが効いた状態では無理に押し込まないでください。端子台が破損する恐れがあります。